

みしま 議会だより

No.022

発行
令和7年
9月

6月定例会報告

『6月定例会の紹介』…………… 2

『6月定例会の一般質問』…………… 5



硫黄島：プールの時間

『6月定例会の紹介』

予算や決算にすることが議会の大きな役割ですが、それ以外にも大事な議題がいくつもあります。6月定例会は、各定例会で随時議論している『一般質問』『条例の制定・改正』『補正予算』などを中心に話します。

令和6年度三島村一般会計補
正予算（第1号）

【採決】可決

【質疑】

岩切平治議員 寄付金の

294万4千円のうちわ
けを質問します。

総務課長 消防団の手当及び旅費
などである。

令和7年度三島村一般会計補
正予算（第1号）

【採決】可決

【質疑】

岩切平治議員 収入の雑

入に公有建物災害共済金
の計上があるが何か。

総務課長 昨年の台風による牛舎
の災害見積もりの修正で、追加の共
済金が発生したことから計上した。



岩切平治議員 財産管理費で昨年

も購入予算計上した地番と同じ地
番の購入となっているがどうい
うことか。

総務課長 昨年の補正予算で計上

したが名義変更等の手続きに時間
を要して契約に至らなかった。補
正計上分を不用額と整理し、改め
て家屋を含めて購入することとし
たものである。

岩切平治議員 社会福祉総務費に

計上されている会計年度職員は新

規配置か？ほかに同様の新規配
置があるのか？

総務課長 当初予算では要求時の

人員で予算計上したが新年度で新
たに必要なこととなったから必要額
を計上した。教育総務費について
も同様のものである。

岩切平治議員 商工費の工事請負

費は具体的には何か。

定住促進課長 竹島の民宿のシロ

アリ対策経費である。

岩切平治議員 住宅建設費の村営

住宅補修工事は何か。

経済課長 補修工事に伴い足場を

組む必要があることから追加経費
の計上である。

岩切平治議員 非常消防費には山

林火災発生に伴い明確となった必
要な備品費の計上がなされている
のか。

なされているのであれば3月議会

において6月議会に計上予算の審
議を行うと答弁したこととの関係
はどうなっているのか。

総務課長 非常消防費の中には地

元から要望に基づく備品等の購入
経費は盛り込んでいない。確かに6
月議会で計上する趣旨の答弁を行
っており、速やかに対処したい。



日高学議員 硫黄島の空

き家改修事業について、大
里にも空き家が3件ほどある。こ
ちらの方にも取り組んで頂けない
か？

定住促進課長 この案件は今回は

硫黄島のみで行う地域のコミュニテ
ィスペース目的とした空き家改修
事業です。議員が仰る居住を目的
とした空き家改修ではございませ
ん。

日高学議員 以前議会でご説明あ

ったと思うが、そうした空き家改
修事業でリフォーム技術を習得し、
コミュニケーションも育まれるとい
った画期的な補正予算だと思ふ。



それは他の地域にも言えること
だと思ふが、何故硫黄島だけなの
かお聞かせ下さい。

定住促進課長 この事業は硫黄島
の地元住民の団体と協議して進め
ています。他地域でそうした地元
住民の団体から要望があれば、協
議の上検討してまいりたいと思ふ。

村長 この事業は地域で活発な意
見が交わされて実現しました。市
町村振興資金をプレゼンして市長
会をお願いして獲得したものです。

このとりくみが活性化すれば、一
例として他の地域にも展開出来る
と考えています。

日高議員の発言にあるように特
に大里の住宅状況は厳しい。住宅
問題は他の地域も含め村の大きな

課題として取り組みます。

令和6年度繰越明許費繰越計
算書の報告

【採決】 可決

令和7年度三島村特産品焼酎
事業特別会計補正予算（第1
号）

【採決】 可決

【質疑】

岩切平治議員



人件費の
計上がある。これにより
職員体制はどのようになるのか。

定住促進課長

4月から地域おこ
し協力隊員を杜氏補として新規採
用した。

また役場の焼酎販売担当会計年



度任用職員が任期満了退職してい
る。蔵の職員は3名体制で変化な
い。また、販売担当職員は一般職
員が担当することとしている。



日高学議員

無垢の蔵で

は、現在杜氏を正規職員
として一人置き、他をパート採用で
補っている。杜氏の補助の育成は
考えていないか。

また、新銘柄の商品開発は考え
ていないか。

定住促進課長

今年度新たに職員
採用し、杜氏の技術や諸業務を習
得して、現職員に何かあった時の
ために体制を整えています。

新銘柄も季節・期間限定など味
わいのある新商品開発により購買
意欲の湧くものを検討してゆきた
いと考えています。

令和6年度硫黄島村宮住宅新
築工事における建設工事請負
契約の締結について

【採決】 可決

【質疑】



日高学議員

硫黄島には
6500万円投じて新築
住宅が出来るようですが、大里は
いつになれば出来るのか。

以前教頭住宅が出来るように予
算化されてたのも他に流れていつた
のか出来てない。住民からも苛立
ちの声も聞かれるし、どのように
考えているかお伺い致します。

副村長

大里に関しては敷地確保
を含め、定期的に住宅会議を開き、
候補地3箇所に絞り検討中です。

近いうちに地区長ほか役員さん
方と協議のうえ、敷地確保から建
設に向け進めて行けたらと考えて
おります。

日高学議員

差し迫った実情とし
て、大里ふるさとセンター管理人
を募集かけているようですが、現
在入居出来る住宅は無い。間に合
わせに空き家改修を打診してみ
ても一向に前に進まない。

こういうことでは村の方針の一人でも人口を増やしたい政策とはほど遠いが、その辺どの様なお考えかお聞かせ下さい。

副村長 現在、空き家の持ち主との間で具体的な話をするところまでいつていない状況です。

この空き家改修の件も含めまして、今後地域の役員さん方と現地におもむき話をもちたいと考えております。

村長 この大里の住宅問題は先だってもお話させて頂いた通り、優先的に地元と協議の上進めるように指示は出しているところです。

これまでも鉄筋コンクリートで一億数千万かけて建設した経緯もありますが、それでも住宅が足り



ない訳ですので、前述の通り進めてまいりたいと思っておりますので、ご協力を宜しくお願いしたいと思います。

三島村税条例の一部を改正する条例

【採決】 可決

三島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【採決】 可決

三島村教育委員会委員の選任同意

【採決】 可決

令和6年度村道硫黄岳線舗装（特定離島）工事請負契約及び変更請負契約の締結について（追認）

【採決】 可決

『全員協議会の紹介』

全員協議会は、議会運営を円滑に・活動的にするための会です。提

出予定の議案や村政の重要案件について、村長や執行機関から説明を受けたり意見を述べたりします。

また全議員が共通認識をもつ必要のある事項を協議したりします。本会議と異なり審議や議決は行いません。ここでは議員から出された議題のみ紹介します。

日高学議員

- ・行政懇談会を早い時期に開催を
- ・大里にも給油所新設の話し合いを再度開いてほしい

- ・公共施設等へのAED配備の進捗状況を知りたい

- ・緊急搬送でヘリが大里健康広場で離着したが、正式に認められた安全な場所なのか

岩切平治議員

- ・冒険ランドの行政目的は
- ・公用車の管理者は

- ・センターの非常用電源対策
- ・光ケーブルの点検状況

宮田穰議員

- ・片泊、大里、両地区の卓球用具（ラケット、台、ネット）の買い替え等
- ・港に揚げられた岩石の有効活用（海洋漂着ゴミを回収しやすくする為に設置するなど）

- ・運動広場の車庫シャッターの修理
- ・フェリーの寄港時間アンケート後の進捗状況

- ・大里港干潮時抜港の時間調整の為の航路変更は出来ないか

- ・過去の台風による被害を受けたことのある箇所の養生



『6月定例会の一般質問』

この場で議員は、政策の執行状況や将来への取り組みなどについて、村に報告や説明を求めます。議員は一般質問をすることで、村が住民のために適切な行政運営をしているかチェックします。

山田和広議員

片泊地区在住

Q「畜産について」

山田和広議員 村が畜産業を基幹産業として位置づけ手厚く進めて、毎年数億円近くの補助金を使い助成しているが、自立していない農家が多いのはなぜか。村の畜産の歴史は長い今後の展開を伺う。

経済課長 本年2月1日現在、繁殖雌牛の飼養頭数は462頭、令和6年度の村全体の売上額が約1億7百万円でした。



農家戸数は24戸で10年前と比較して、戸数が10戸減、平均年齢は5歳上昇しています。このことは、多頭化に取り組む農家がある一方、近年新たな新規参入者がいない事が伺えます。そこで、畜産振興の発展方針について4つの柱を立てます。

① 酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律に基づき、三島村酪肉近代化計画の見直しを令和8年度に行う。

② 地域おこし協力隊（農業支援員）応募がない状況であるが、引き続き募集活動に力を入れる。

③ 担い手の参入状況を踏まえた、適正な規模での畜産公共事業等を実施していく。

④ 畜産関係施設及び農業機械の適正な保守管理を徹底。

以上を踏まえ、きちんと現状を分析して計画的に村の畜産の振興方策を講ずる必要があると考えております。

Q「県道・村道維持の今後」

山田和広議員

毎年、県や村で道路伐採を行い住民が安全に道路を使えるようにしているが、自然の力が強く常に竹や木が茂って大変である。重機を導入しているが、使用が見られない説明してほしい。

経済課長 県道の維持管理・パトロールに総額約600万円が村が委託している。村道については4地区で800万円、作業員報酬が616万円（各地区154万円）を計上している。

村道の延長を考えると十分とは言えず、指摘の状況が生まれている。道路の維持作業は、島民に就業機会を提供する事業でもあります。村の厳しい予算や作業員不足の状況を考え、今後効率的な道路の維持管理の為に、機械の活用方法を検討する必要もあると考えます。

宮田穰議員

大里地区在住

Q「貨物受付所のセキュリティについて」

宮田穰議員 度々起こる貨物の紛失事故に対してセキュリティを強化する必要がある。ドライブレコーダーのような安価なものでもしっかりと映像が残る。業者の持ち帰りなのか、侵入者によるものなのか、判別できるようにしておくことが重要。

出入口のセキュリティ強化、カメラ作動中などの警告とともに、レコーダーを設置することで抑止力になるので、ご対応よろしくお願いしたい。

船舶課長 貨物の紛失事故について、把握している件数は、昨年2件、黒島地区で発生している。

今後、荷物の受け取り時の名前



写真はイメージです

確認などへ注意喚起を徹底したい。

建物の管理者に問い合わせたところ、監視カメラは旅客数や船便の多い、種子島屋久島の高速線ターミナルや鹿児島市のフェリーターミナルに設置しているが、貨物倉庫には設置していないということだった。

荷物の紛失も、ほとんどないというところで、監視カメラの設置は非常に難しいという回答だった。近年、強盗や不審者の侵入等、全国で数発生しているので、船舶課としても、今後監視カメラの設置も考慮しながら、防犯対策に努めていきたい。

宮田穰議員 私自身の荷物も、紛失した。伝票はあったが、物がなかった。金銭や荷物をやり取りする場所にカメラを設置することは特別なことではない。安価なもので一、二万であるので、映像に残すことが大事。前向きに検討をお願いしたい。

Q 「新型コロナウイルス予防接種による副反応健康被害報告数、死者数について」

宮田穰議員 新型コロナウイルス予防接種による副反応健康被害報告数、死者数が増え続けている。

令和7年5月12日、参議院決算委員会では、死亡者は1000人を超え、副反応疑い報告件数は、医療機関からは3万7000件を超え、製造販売業者からは2万9000件を超えていると発表があった。

米政府の公式発表で4月18日、発生源は中国の研究所からでウイルスの遺伝子配列からは極めて人工物である可能性が高いとの見解。また、WHOの新型コロナウイルス対策のソーシャルソーシャルディスタンス、マスクは意味がなかった。ロックダウンは経済的な被害があったとかで、アメリカはWHOからの脱退を表明している。

当時の新型コロナウイルス対策分科会長である尾身茂氏はワクチンによる重症予防効果や感染予防効果はなかったと明言した。実際に過去に類を見ない多くの健康被害が出ている。このウイルスがもし人工的に作られたのであれば、バイオテロのよう

な話になり、その出口はワクチンだと一つのビジネスケースになってしまっているのではということ。このような国内外の情報の共有、島民への注意喚起、未だされていない。こういった厚生労働省のデータは事実として公表すべき。

民生課長 新型コロナウイルスワクチン接種に伴う副反応や健康被害、並びに感染症の発生源に関する情報の住民への周知について、国の予防接種健康被害救済制度に基づき、厚生労働省が専門家による審査を行い、接種と健康被害の因果が否定できない場合には補償が行われている。

接種後に亡くなられた方のうち、一定数がこの制度の対象として認定されている事実も把握しており、ワクチン接種はあくまで個人の判断に基づく任意の医療行為であるという原則を重視しながら、今後も住民の



皆様へ適切な情報提供を続けていく。

また、ウイルスの発生源について様々な見解や報道があることも認識しているが、本村としては、現時点で国や県からの公式な通達や判断が示されていない情報について、村単独で科学的な情報を出したり、独自の見解を公表することは慎重であるべきと考えている。

必要に応じて最新の正式な正確な情報をわかりやすく伝える努力を村のホームページ上で続けていく。

宮田穰議員 厚生労働省のデータは十分把握しているということで、ホームページ上で掲載していくということだが、高齢者が多く、ホームページを見て情報を知り得る方は少ない。接種を促すときに今後ホームページ上だけではなく、書面化して、周知徹底していただきたい。

Q 「116の搬出について」

宮田穰議員 大里地区でも、分別回収が始まった。家庭から出る資源

ゴミ、不燃ゴミなどの島外に搬出する際の行き先、またそれにかかる費用などの詳細をお伺いしたい。

民生課長 大里地区では令和7年4

月より分別回収している。資源ゴミ、紙類、ペットボトル、缶、瓶、不燃ゴミ、ガラスの破片、金属、小型家電などは村が委託する民間の選別再資源化事業者に回収を委託して、リサイクルしている。不燃ゴミ、可燃ゴミは、島内の焼却炉で焼却処理している。焼却で発生した焼却灰も村が委託する専門業者が適切に処分を行っている。

これらにかかる費用は、アルミ缶等の資源ゴミは一部売却収入があるので、ゴミ回収業務を行う地区の団体へ売却益は還元して団体運営費に当てられている。回収運搬に要する費用は原則村の一般財源からの支出が必要となっており、これらの処分にかかる総費用のうち、令和6年度の村の一般財源の負担分が約2200万円。これは業者への委託料、ゴミの回収等の従事者への報酬、消耗品、光熱費、フェリー航送料等

も含めた総額になっている。

なお、回収業者へ依頼している回収物ごとの個別費用については、重量が算出の基礎となっていることから、品目ごとの詳細な内訳は把握していない。今後の費用縮減とリサイクル率の向上を図り、住民の皆様への啓発活動に一層取り組んでいく。

宮田穰議員 品目ごとの詳細不明と

いうことだったが、2200万円の中に、海洋漂着ゴミは入ってるのか？

鹿児島県は有人離島が28あつて世界遺産や国定記念公園やジオパークに認定されており、排他的経済水域を守っているの、国や県と連携して持続可能なゴミ処理体制を構築することが重要で、この財源を交渉出来ないか。

鹿児島県の大崎町を参考に（ゴミを）島外に出せるような環境、仕組みづくりが重要。

また焼却炉の耐熱煉瓦の劣化などで隙間から炎や黒煙も出てきている。

焼却炉のメンテナンスは今後どうしていけばいいのか。

また炉の中にリチウムイオン電池が入っていると、爆発する等事故になりかねない。従事者に保険等かかっているのか。

民生課長 海洋漂着物の回収費用は、総額の中には含まれていない。

財源確保については、今後、県国の方に要請をしながら可能な限り財源確保に努めていきたい。

焼却炉の従事者にかかる保険はかけている。

経済課長 海洋漂着ゴミは、経済課が毎年度事業を実施している。

宮田穰議員 大崎町のモデルケース視察、従事者に対する安全確保、炉のメンテナンス等、よろしく願います。

Q 「幼稚園の今後の取組み」

宮田穰議員 幼保園の今後について話し合われた問題点をどのように解決していくのかお伺いしたい

民生課長 先日開催された会合では、現場での課題や方向性について意見交換が行われた。

課題はまず、施設整備の課題。黒島の保育機能を充実させるため、現在仮設施設の設置を含めた複数の選択肢を検討している。

現場の保育ニーズに対応して一定の機能を確保できる形を模索しているが、設置場所の選定、整備、維持管理の費用、周辺環境への配慮など様々な課題の整理が必要となっている。

空き家の活用案も改修に伴う費用負担や利便性の確保面からも、現時点では実現が難しい状況。

次に預かり体制や人材確保の課



題。島内の行事等での未就学児の預かりは、現場職員の負担が大きく、勤務体制の維持が課題となっている。

引き続き地区内の協力者を募るとともに、外部からの人材派遣の導入についても取り組んでいる。

宮田穰議員 以前も話があった阿蘇ファームのドームハウスや、鹿児島県の間伐材使用のコンテナハウス等の導入検討をしてほしい。

国土交通省の認可を受けた様々な住宅を上手く活用して、台風やあらゆる災害にも強く、工期も短く人件費も削減でき、少ない財源で福祉施設や保育園等の建設の可能性を見出していきたい。

子供用トイレ、沐浴台、室内でお湯が使えるようにといった要望もお願いしたい。

民生課長 ドームハウス等、複数の選択肢の中に上がつており、検討を進めているが、先ほどと重複するような課題を解決するような案が確立

されていない。引き続き検討を進めていく。設備を整備することに関しては早急に予算化を進め、適切な保育機能が確保できる体制を整備していきたい。

日高学議員 大里地区在住

Q「令和の米騒動、村民の食と安全に関して」

日高学議員 米騒動の対策として備蓄米確保も考えるべきだと思う。また、鹿児島県港界隈の店が島民向けの食料品などの配送を6月いっぱいまで辞めるといふ。島民には食を断たれるに等しく大変不安に感じている。村として如何お考えか。

経済課長 米騒動の発端は気候変動や自然災害の影響が大きい。国は昨年食料農業農村基本法を四半世紀ぶりに改正した。こうした施策に期待したい。

また備蓄米は厳格な冷蔵庫保管などの観点から現実的に難しいと考え

る。今後必要に応じ国の交付金などの活用で、米その物や現金支給などの住民支援を検討したい。

民生課長 買い物弱者の支援モデルの構築について、国や県とも連携し定期的持続可能な配達サービスの導入をすべく、様々な制度を取り入れて迅速に進めてまいります。議員の皆様方のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

日高学議員 米は日本人にとって特別なものでまた主食でもある。様々な事情からいつ外国米に変わってもおかしくない不安定な情勢下にある。三島村に米が流通しなくなる事のないよう取り組んで頂きたい。

Q「三島航路の存続について」

日高学議員 奄美海運は2025年



6月1日より、沖永良部島の知名港への寄港を休止するというニュースがあった。港湾作業員の人材不足が原因とのこと、三島村でも早くから高齢者に依存した実情は伝えているが、大里には一向に地域おこし協力隊の派遣がない。早急な対策が迫られているが如何お考えか。

船舶課長 奄美海運の作業員不足による減便は、同じ離島航路として深刻な事態と認識しています。現在「フェリーみしま」は船員16名で定員割れが無い状況です。欠員が起きないよう今後も船員の働きやすい環境づくりに努めます。

定住促進課長 現在大里の住宅に關しての計画は無いが引き続き住宅対策会議にて協議してまいります。

人材不足に伴う地域おこし協力隊などの募集は住宅整備と並行して引き続き検討してまいります。

日高学議員 荷役作業高齢化に起因する事故等の未然防止のため早急な対応を宜しくお願い致します。

Q 「祭事と議会の日程」

日高学議員 大里の9月祭りと9月議会が毎年重なり、祭りごとの準備を担う区長が議員の場合、途方に暮れてしまう。村にはどちらも大切な行事です。執行部で重複しない策をお伺いします。

総務課長 各地域ごとの伝統行事の継承には敬意を表します。なお議会の日程調整は多角的方面から検討し決定している。

三島村議会運営申し合わせの中にあるように行事が重なった場合、議会活動を優先すると明記されています。認識に異議があるようでしたら、今後認識を二つにするべく議論を尽くしてまいりたいと思いますので宜しくお願い致します。

日高学議員 大里で約30年区長兼議員をされた方の時には重複の例は無いと歴史が物語って居るので出来ない事はないと思う。

村長は昔良く「やって出来んつち



ゆーこつがあいもんや」が口癖でした、そういった意味でも是非関係者の皆さん方のご理解を頂きますよう宜しくお願い致します。

総務課長 議員も様々な事情で地区伝統行事活動と議員活動の板挟みとお察し致しますが、我々として申し合わせ事項に沿って進める以外ないと考えます。異議や見直しが必要であれば議会の議員さん方含めて協議させて頂きたいと思います。

Q 「大里の危険箇所について」

日高学議員 10年近く前、大里の上集落県道沿崖上の道路が陥没して危険と議事録にもあると思います。

調査されたのか何の施策も講じられていない状況、村は事故が起きてからでないとい何の手も打たないのか、

日々住民が通る生活道路で神社仏閣にも通じる道路です。台風時に県道への倒木が危ぶまれる大木も含め、早急な調査を宜しく御願致します。

経済課長 そうした危険箇所は、県に随時報告して早期改善に向け県土木事業連絡会にも要望しています。今回御指摘の箇所は、現地調査をし県の担当課に報告させて頂きます。

日高学議員 以前も「議会だより」などに県に報告してあるなどとなっていたかと思います。

実際、大里生活センター横の宮向川に面した県道沿いカーブで、頻繁に大型トラックが通行する路肩に2、3メートルのヒビ割れがあつて、調査と対策をと昨年指摘したが、三角コーンを置いていただけで何らか進捗状況が見られない。こんな状況じゃ



本当に県はなにか対策を講じているのか信用出来ない。

経済課長 以前のものまで全て把握している訳では無いが、そうした箇所があれば再度現地に赴くなり他の職員なり立会のもと調査をして、きちんと報告をあげたいと思います。

日高学議員 この様な状況ですと県道は次々に未着手危険箇所等が溜まって行く。今回の大里上集落県道沿生活道路について、いつまでに調査に行くと約束出来ないものでしょうか。

経済課長 今回御指摘の箇所は、通告書が届いた時点で現地の事業者さんに確認はさせています。

来月には黒島に職員が行きますのでその際きちんと調査させて頂きますので立会協力を御願致します。

大山村長 私から二点程お話させて頂きます。漂着ゴミの問題は鹿大の藤枝先生も含め全離島の方から国に対して要望した制度で、当初国が100%補助して近年少しずつ補助

率が落ちてきているので、小さな村にとつては大きな課題だと捉え応分の嵩上げなどを国に訴えてゆきます。

奄美海運が船員の退職と港作業員の人材不足で減便や知名港寄港休止など、これまで考えられない事態が生じ、三島村も危機意識をもつて取り組んでゆきたい。

中原良範 議員

竹島地区在住

Q 「地域担当職員について」

中原良範議員 各地域の催しに地域担当職員の皆さんが参加してくださり、人口減少の進む地域においては助かつております。（活性化の意味でも）今回、各種団体からの要望で、参加要請したが1名しか来れない。その後、2名に変更されました。それぞれ事情はあるでしょうが、行政のと地域との連携をとる意味でも、参加者が1人でも多く参加することを希望します。

総務課長 令和4年度にスタートし

た地域担当職員制度も4年目に入りました。今年度につきましても、各地域の担当として5人の職員が任命されています。

『地域と行政が一体となり、各地域の特性を活かした効果的な対策や施策を検討するため、互いに情報を共有することにより地域の発展を図る』という初期の目的達成のため、積極的に取り組んでいると認識しています。

役場職員の基本は、地域を知ることだと考えています。役場も人員に余裕がなく最小限の人数で多くの業務を兼務しています。要請に対し満足な人員が参加できないこともあるかもしれませんが、本来の業務を優先し、住民サービスに影響が無いよう業務をやり繰りしたうえで活動するよう指示をしていますのでご理解をお願いします。

Q 「体育館の補修について」

中原良範議員 昨年の台風被害から、応急処置をしてから、全く手が

入っておりません。これから先、地区の催しや学校の授業等に使用されていくと思います。電気系統も漏電していると聞いています。今後、どのように考えているか、たびたび質問しているのですが、お伺い致します。

教育委員会事務局長 現在の状況を請負業者に確認したところ、宿泊施設の確保がままならないことから、計画していた作業員を送り込むことが出来ず、まずは8月20日工期の令和6年度繰越事業である教員住宅の改修工事を行い、おおよその見通しが立つであろう8月に入った時点で体育館に着手、8月31日の完成予定となっております。

なお、漏電につきましては、現在のところ不具合箇所は見つかっておりません。



徳田保 議員

硫黄島地区在住

Q 「冒険ランドの設備と管理・交流棟以外の建物に関して」

徳田保議員 3月議会で冒険ランドの再利用は、ジャンベの拠点として使用するという事だったが、使用するには色々な設備等の使用がかからない。浄化槽、水道、このような設備についてはどのような考えなのか。

また管理棟、ふれあい棟以外の建物についてはどのようにするのか。

総務課長 冒険ランドの今後の活用については、ジャンベ留学生との拠点として活用する旨をお伝えしたとおりです。

当施設の工作物については令和6年度当初に鹿児島市から無償譲渡され、年間の維持管理費にかかる資料をいただきました。これによりますと浄化槽の維持費に年間120万円ほど。水道は確認がとれませんでした。

設備の老朽化は明確で、今後修繕等が発生すると予想されます。これらを受託者が負担することは不可能であり当分は村が負担し維持して行きます。

管理、交流棟以外の建物、ツリーハウス、炊事棟がありますが、昨年の台風で被害を受け今月復旧工事が完了しました。これらについては今後また住民からの要望もふまえ検討していきます。

徳田保議員 冒険ランドには管理、交流棟、また下の方にトイレ施設が2ヶ所あります。全部使用すると年間120万円維持費がかかるのとありますが、一部だけ使用できるかは私わかりませんが、調べていただいて、維持費が少しでも少なくなればいい訳です。

また水道施設については、地区タンの所にポンプ室があり、そこから冒険ランド下の入口の所のタンクに水を送り、またそこから各施設の水道にポンプで送っています。

そこまで行政の方は把握しているのかわかりませんが、余分な設備があり維持費が多くかかってくるという事ですので、これから計画してゆかなければならないと思う。

また下の方にあるツリーハウス、丸いログハウスは、ツリーハウスはまだいいとして、ログハウスの方は中もひどい状況になっている。あっても使わないだろうと思うので撤去も含め検討すべきだと思うが。

総務課長 鹿児島市からいただいた図面では把握はしておりますが、まだ現地を確認していなくて、今おっしゃるように水道、貯水槽、その辺りの現況を確認できておりませんのでなるべく早く現地調査を行います。管理、交流棟以外の建物についても現地確認する。

徳田保議員 無料譲渡してもらいましたが、先々多額の経費がかかることも考えながら活用してほしい。

Q 「大浦線法面の吹付工事について」



徳田保議員 これまで全体の半分以上の吹付工事が終わっているようだが、今年度は計画がない。幹線道路であり非常に危険な箇所である。

特に梅雨時期は大雨も多く、通るたびに不安になりながら通行している状況である。このような危険箇所については早めの対応が必要だと思うが、今後どのような計画なのか。

経済課長 村道大浦線のモルタル吹付工事は、国の交付金事業で令和4年度まで実施しておりましたが、令和5年度以降は、村の財源確保が出来なかったため、休止の状況となっております。

進捗率は65%で、残り区間の事業費は、概算で約3億円を見込んでいます。今後、他の事業の計画と照

らし合わせながら財源の確保の見通しが立った時点で再開する計画です。

また落石防護ネットの区間も更新に約1億5千万円程度が必要ですが、モルタル吹付工区間と同様、村の財源確保の状況次第と考えています。

全区間が完了するまでは、降水量によつては、土砂災害の危険度に応じて通行止めなどの規制もやむを得ないと考えております。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。

岩切平治議員 硫黄島地区在住

Q 「子育て広場の職員体制」

岩切平治議員 子育て広場の職員体制に関し、職員複数配置の現状、募



集状況、充足できない理由、会計年度職員から一般職員への転換の計画について質問します。

民生課長 一部において複数配置は未充足。HPや民間の人材紹介の活用並びに職安へ求人の要請など行っているが、地理的環境などで人材確保が厳しいと認識している。

現場の職員からも業務負担の増加や休暇取得の困難などの意見もある。財政状況が厳しい中で一般職員化も含め色々なところと協議しながら総合的に検討してまいりたい。

Q「台風災害の復旧作業」

岩切平治議員 昨年の台風災害の復旧が大幅に遅れ新年度になってしまったが、これほど時間がかかった理由と、台風災害は毎年のように発生している現状に鑑み、早期復旧できるように業者はじめ関係者との間で協定等結ぶ考えはないか質問します。

総務課長 災害が発生し新年度にまで時間がかかった理由は、

- ・災害が全島に及び、対象も住宅、牛舎、土木と、広範囲に及んだこと

- ・積算作業等に外部の協力を頂いたが日程調整等に時間を要したこと

- ・担当職員が他業務を支援したこと

- ・積算の見積が11月までかかったこと

- ・速やかに契約を締結したが、業者の職人の手配に時間を要したこと

- ・悪天候によるフェリーの欠航などで工事の着手が延期となったこと

など様々な要素が絡み今日までかかった。今後は県に協力して頂ける機関があるので連携を強化するなど適正を期してまいりたい。

Q「消火用水の確保方策」

岩切平治議員 先の山火事の際には消火栓が水道用水と共用していることから使えなかったが、一般的には消火に必要な水は一定の時間放水可能な水を確保することとされている。

硫黄島にはプールがありさらには貯水量も100トンが別途確保されていると聞いているが、消火用水の確保方策はどのように考えているか質問します。

総務課長 一般的に住宅火災の場合30分放水可能な量として15トンから20トン必要とされており、硫黄島の場合には200トンが確保されている。実際の利用等に関し情報の共有化を図るなど適正を期して参りたい。

Q「開発センターのボイラー」

岩切平治議員 開発センターのボイラーが頻繁に不具合をきたしていると感じるが耐用年数や経過年数などどのようになっているのか。

総務課長 開発センターのボイラーは2016年製造のもので9年経過

していると認識、耐用年数は13年であり老朽が激しいとまでは認識していない。

燃焼効率を上げるため床から外気を取り込む方式で、離島特有の塩を含んだ空気が入り塩害を発生させるとメンテナンスを担当した業者から指摘を受けた。今後とも定期的なメンテナンスを行い適切な時期に更新を行いたいと考えている。

編集 議員 徳田保

議長 長濱義人 議員 岩切平治

議員 中原良範 議員 日高学

議員 山田和広 議員 宮田穰

デザイン 棚次理

発行 鹿児島県三島村議会

〒892-0082

鹿児島県鹿児島市名山町12番18号

※本誌は議会の内容をわかりやすく伝えるために要約したもので、やりとりの順番などが実際と異なります。正式な記録は各出張所などにある議事録でご確認ください。

